

執筆者紹介（本文執筆順）

東浦弘樹（とうら ひろき） 関西学院大学文学部教授（フランス文学）。演劇ユニット・チーム銀河代表。劇作家、役者。著書『晴れた日には「異邦人」を読む』（世界思想社、二〇〇一年）、『フランス恋愛文学を楽しむ』（世界思想社、二〇一二年）他。

平瀬礼太（ひらせ れいた） 美術史家。著書『講座日本美術史6 美術を支えるもの』（共著、東京大学出版会）、『戦争と美術』（共著、国書刊行会）、『銅像受難の近代』（吉川弘文館）（第23回倫理美術奨励賞）。『彫刻と戦争の近代』（吉川弘文館、二〇一三年）『肖像』文化考（春秋社、二〇一四年）

呉谷充利（くれたに みつとし） 相愛大学人文学部教授。著書『志賀直哉、上高畑の「サロン」をめぐる考察』（創元社）『近代、あるいは建築のゆくえ』（創元社）『志賀直哉旧居の復元』（学校法人奈良学園）『中之島図書館、新たな百年の一步―歴史から学ぶこと』（明日の中の中之島図書館を考える会）他。

石川玲子（いしかわ れいこ） 相愛大学人文学部准教授。専門はイギリス近代文学。主要論文「ヴァージニア・ウルフが描いた『生』のかたち―クラリッサ・ダロウエイの死生観から―」『相愛大学人文学部研究所研究年報』第二号（二〇〇八年）『子供から大人への旅―ディアノイアのクリストヘレンの場合―』『英米文学の可能性―玉井暉教授退職記念論文集―』（英宝社、二〇一〇年）『灯台へ』のパーティー―社交・芸術・女性のつながり―『ヴァージニア・ウルフ研究』第二十八号（日本ヴァージニア・ウルフ協会、二〇一一年）他。

吉川仁子（よしかわ ひとこ） 奈良女子大学文学部講師。専門は日本近代文学。主要論文「芥川龍之介『玄鶴山房』考―阪本龍門文庫蔵自筆原稿の検討を通して―」（『叙説』平成十四年十二月）『夏目漱石と森田草平 手紙を書く女・書かない女』（『女の手紙』双文社出版、平成十八年）『夏目漱石「明暗」論―清子らしきとは何か？―』（『明暗』論集、清子のいる風景』和泉書院、平成十九年）

弦巻克二（つるまき かつじ） 奈良女子大学名誉教授。専攻は日本近代文学。主要論文「ねむり看守」（『論集 泉鏡花第二集』有精堂）『チ和泉書院』『関東大震災と鏡花』（『ことば』第十集』和泉書院）『中島敦「北方行」管見』（『叙説』平成九年三月）他。

梁瀬 健（やなせ たけし） 大阪教育大学名誉教授。著作等『現代大学教育と新島精神』（新島研究六号 一九八四年）『明治期のキリスト教教育と新発見の新島書簡について』新島研究八号 一九九三年）『梁瀬戈登隨筆集』（近代文芸社 一九九九年）他。

橋元淳一郎（はしもと じゅんいちろう） 山口大学時間学研究所客員教授。相愛大学名誉教授。著書『時間はどこで生まれるのか』（集英社新書）『神の仕掛けた玩具』（講談社。日本文藝家協会、日本SFF作家クラブ、日本物理学会、日本天文学会、日本天文学会）。

りずむ 第五号

平成二十八年三月二十五日印刷
平成二十八年三月三十日 発行

編・発行者 白樺サロンの会

公開講座 〒630-8301 奈良市高畑町二二三七―二

志賀直哉旧居（学校法人奈良学園セミナーハウス）

〇七四二（二）二〇六四九〇

発行所・事務局 〒658-0003 神戸市東灘区本山北町五丁目
一〇一―二二―二〇一

白樺サロンの会

〇七八（四五三）五五四五

印刷所 〒615-0052 京都市右京区西院清水町一三

協和印刷株式会社
〇七五（三二）四〇一〇